

みやぎDUAL-COREハイスクールネットワーク

別添資料4

1. 研究開発の背景・目的

- 背景：郡部から仙台圏への人口流出
⇒仙台圏への一極集中
15歳人口の減少
⇒郡部の高校の定員割れ
- 目的：都市部への人的資源の一極集中の是正と高校を核にした地方創生
⇒仙台圏と郡部の教育機会の格差の解消
遠隔授業による多様な授業展開
⇒生徒の多様なニーズに対応
郡部の高校の地域探究を柱とするカリキュラム開発
⇒地域に貢献する人材を育成

3. 今年度の成果と今後の課題

- 成果
 - (1) 遠隔授業の知見の蓄積
 - ・遠隔授業の実践を通じた指導力の向上
 - ・学校間の連絡体制等の構築
 - (2) 学校コンソーシアムと充実した協働
 - ・探究活動の充実
 - ・地域との関わりの深化（成果物の充実）
- 課題
 - (1) 1人1台環境における遠隔授業の実施
 - ・「協働的な学び」や学習評価等の在り方
⇒研修の実施や互見による授業研究
 - (2) 持続可能な学校コンソーシアム運営
⇒担当教員の配置に依らない運営方法

2. 実施体制・取組状況

意思決定の場【みやぎDUAL-COREハイスクールネットワークコンソーシアム(MDCC)】

- 構成団体
- 高等教育機関：東北学院大学 宮城学院女子大学（指導・助言及び支援）
 - 授業配信校：宮城県宮城野高等学校 宮城県田尻さくら高等学校（授業配信）
 - 探究的な学びのための学校コンソーシアム（探究的な学びの支援・協働的な学び）
みやぎハイスクールネットワーク構築事業岩ヶ崎高等学校委員会
宮城県中新田高等学校運営協議会 地域と川崎校の連携「実務者連絡会」
 - 行政機関：宮城県教育庁高校教育課（本事業の総理（事務局））

指導・助言
支援

意見・提案

- 岩ヶ崎高校コンソーシアム（みやぎハイスクールネットワーク構築事業岩ヶ崎高等学校委員会）の取組
 - ・総合的な探究の時間における探究活動の助言
 - ・地域探究活動の聞き取り調査のための人材発掘（人材バンクの作成）
 - ・外部と連携した部活動やボランティア活動

- 宮城県中新田高等学校運営協議会（兼コンソーシアム）の取組
 - ・総合的な探究の時間（加美町探究）の支援
 - ・学校設定教科（地域創造学）の講師派遣等の支援
 - ・インターンシップへの協力
 - ・町の行事等におけるボランティア活動等

- 柴田農林高校川崎校コンソーシアム（地域と川崎校の連携「実務者連絡会」）の取組
 - ・地域と連携した防災研修会
 - ・スクールバス支援
 - ・外部と連携した課外活動 ⇒和太鼓演奏 よさこい演舞 茶の栽培
 - ・支援学校との行事の連携合同授業
 - ・総合的な探究の時間や保健体育科の支援
 - ・外部と連携したボランティア活動

- 遠隔授業の配信

宮城野高校	➔	岩ヶ崎高校（美術Ⅱ 地学基礎）
田尻さくら高校		中新田高校（数学B 科学と人間生活）
		柴田農林高校川崎校（科学と人間生活）